

経済の動き*

【全体感】

東北地域の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、悪化しつつある。最終需要の動向をみると、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から、悪化している。設備投資は、横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、高水準ながらも減少しているほか、住宅投資は、高水準ながらも一段と減少している。こうした中、生産は、弱含んでいる。雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まった状態にあり、雇用者所得は緩やかな増加基調にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響がみられている。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回って推移している。

【各論】

1. 需要項目別動向

公共投資は、震災復旧・復興関連工事を主体に高水準ながらも減少している。

設備投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

3月短観（東北地区）における2020年度の設備投資をみると、非製造業では新規出店等の投資が一服する動きがみられるものの、製造業を中心に維持・更新投資や将来の需要増加を見込んだ能力増強投資がみられており、全体では前年並みの計画となっている。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から、悪化している。

主要小売業販売額は業態ごとにばらつきが大きい。内訳をみると、スーパーやドラッグストアは増加している一方、コンビニエンスストアは弱い動きとなっているほか、百貨店は大幅に減少している。耐久消費財をみると、家電販売額や乗用車販売は減少している。

この間、サービス消費を中心に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている。

住宅投資は、震災復興需要のピークアウトに加え、貸家着工に弱めの動きがみられることから、高水準ながらも一段と減少している。

* 直近の金融経済統計および企業ヒアリングをもとに、東北地区6県（青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島）の金融経済情勢を取り纏め。

▼日本銀行仙台支店HPへのアクセス

当店HPでは「経済の動き」を始め、東北経済に関する様々な情報を掲載しております。是非ご覧ください。



2. 生産

生産（鉱工業生産）は、弱含んでいる。

主要業種別にみると、生産用機械等は、増加している。電子部品・デバイスは、下げ止まっている。一方で、輸送機械は、弱い動きとなっているほか、食料品は、低調な動きとなっている。

この間、一部に新型コロナウイルス感染症の影響がみられており、幅広い業種で先行きの不透明感が高まっている。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まった状態にあり、雇用者所得は緩やかな増加基調にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響がみられている。

4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回って推移している。

5. 企業倒産

企業倒産は、低水準ながらも増加基調にある。

6. 金融情勢

預金動向をみると、公金が前年を下回っているものの、個人・法人が前年を上回って推移していることから、全体では前年を上回っている。

貸出動向をみると、個人向け、法人向けの増加を背景に全体でも前年を上回っている。この間、貸出金利は低下している。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行仙台支店営業課 TEL：022-214-3120
